

川東の里だより

2003.4 No.74

発行者
伊藤義則

発行所
きたみ学園
きたみ学園成人部

☎ 24-2701

川東学園 ☎ 24-3030
友楽里・風楽里

☎ 23-9591

北見市川東 226 番地

印刷所
(有)サンケイプリント社



“新築を祝う会”

ホリで

みんなで

やつたよ。

お父さんも

お母さんも

いっしあり。

晴れがましい顔、顔。

大好きな肉料理

いっぷい食べたよ。

“おわいじソーラン”の

お兄さん、お姉さんと

思いっきり踊った。

新しい学園に

皆さん遊びに来なね。

心も新たに新生活へ

総合施設『川東の里』施設長

伊藤 義則

二月十六日は身内だけの『新築を祝う会』でしたが、総勢三百七十一人という大人數の中で盛会裡に終了できました。

さて、この新しい施設は、広大な敷地に施設が機能的に活用できるよう工夫設計されており、総合的にみて道内でも有数の立派な施設であると思っています。

入所施設は、全室個室とユニット型の地域支援ルームが十二か所あり、家庭的で和やかに共同生活ができるようデイルームや洗面所、トイレ等が完備されています。

また、四月一日よりデイサービスセンターを開設します。新規事業として十五名定員のデイサービスの受入れと、今まで定員十九名の通所更生部の規模を拡大し、三十名の通所更生施設として『部から施設』へと格上げし、デイサービスセンターを拠点に再スタートの予定です。

更に、通所者の人達の念願であつた『フレンズ共同作業所』も総工費約七千万円で新施設裏側で建設中であります。この資金の大部分は、きたみ学園、川東学園の父母会の皆さまからのご寄付を使わせていただいており、竣工は三月末の予定です。

新しい施設に移転して間もなく二月半程になります。当初は、環境が大きく変わり慣れない方が結構いるのではと心配をしていましたが、思つたり利用者の人達は環境に早く適応してくれて順調に新しい施設に移行することができました。

利用者の人達の移転後の感想を聞いてみると『自分の部屋がある。』『ベッドで寝られる。』『風呂場が広い。』『エレベーターがある。』『映画が観れる。』等多くの人達に満足してもらっています。

特に、父母会の皆様方の多大なご寄付が資金面の原資となつたことや『改築懇話会』や『施設整備を進める会』等の献身的な取り組みが建設推進の下地になりました。今までのご尽力に対し心より感謝を申し上げます。

また、亀井理事長、古川建

設委員長をはじめ理事の皆様には、自分の仕事を犠牲にしてまで、この建設のために奔走していただきました。障害者福祉のためとはいえ無報酬で、ここまでやつていた、だいぶことに對して、本当に奉仕の気持ちがなければできない役職と考えています。本当に長い期間ありがとうございました。

この新しい施設を利用する人達は本当に幸せ者です。

この間、十年以上の長い歳月を費やしてきました。理事長を頂点に、理事、両学園の父母会役員や父母、北見市福祉事務所、川東地域住民諸氏及び職員等の筆舌に尽し難い思いと努力の結果であつたと思われます。

特に、父母会の皆様方の多大なご寄付が資金面の原資となつたことや『改築懇話会』や『施設整備を進める会』等の皆として地域社会福祉の要の効率化し、北見市周辺はもとより管内の知的障害者施設の有効活用し、北見市周辺はもとより管内の知的障害者施設の皆として地域社会福祉の要請に応えて参りたいと思います。一層のご支援ご協力をお願い申し上げお礼と決意の言葉と致します。

新生『川東の里』

友楽里・風楽里支援課長

村田 勉

昭和四十二年に児童施設『きたみ学園』が設立され、北見の地に初めて知的障害児福祉施設が誕生しました。

その日から十年が経過し、

入所している方たちの成長とともにに成人施設の必要性が叫ばれ、昭和五十二年に更生施設『川東学園』が設立されました。

両施設は地域の方々や多くの市民に支えきれながら、施設利用者の方が少しでも豊かな生活が送れるように、また一人でも多くの方が社会自立できるようになると努力して参りました。

今まで経過した三十五年の月日の中で、多くの方々が施設から羽ばたき、社会へ自立して行きました。そのことを曲がりなりにも支える役割を果たしてくれた旧施設の建物は老朽化し、四

人部屋という古い基準は時代の福祉ニーズに応えることができない状態になつていました。

先般、施設利用者の方や保護者の方々の長年の熱き思いが、きたみ学園・川東学園の全面改築移転として実現致しました。

バリアフリーで落ちつくことができる空間、全室個室といふプライバシーが保障される、立派で近代的な建物であります。

今、その新築の施設で生活を始めている利用者の皆さんには、満足げで嬉しそうです。この大事業が成就した背景には北見市民の暖かい理解や改革に貢献された大勢の方々の熱意が存在します。そのことを思うと、感謝の気持ちで一杯になります。

北見の川東地区の西端につなぎきたみ学園・川東学園の旧施設。今は取り壊されて面影もありませんが、そこでのいる障害児者の療育や生活、

障害者福祉事業は、大きな広がりを見せました。

きたみ学園・川東学園の改築移転とともに、同じ敷地に十五年四月一日より、通所更生施設『友楽里』（定員三十名）『ディサービスセンター』『風楽里』（定員十五名）フレンズ共働作業所（定員十五名）が開設されます。

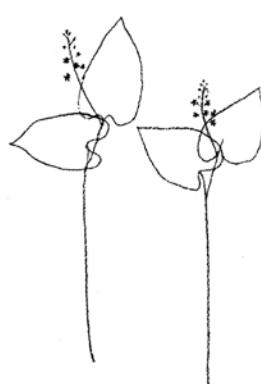
この新天地の場所は、川東二二六。再び川東地区であり、その東端に位置します。

長い年月にわたつて川東地区に育まれ、また同じ川東の新天地で大きな使命を果たそうとしている各施設機能。

私たちはその総称を、感謝をこめて『川東の里』と命名させていただきました。

願わくば、この川東の地が、近隣市町村の障害者福祉発展の発信地となれるよう、また、総合施設『川東の里』の使命と役割を果たすことができるよう、私たち職員は一丸となって、より一層の努力を重ねて参りたいと存じます。

私は、前述の施設機能の他に、地域の街の中で、四人の方が一緒に住んでいる九ヵ所のグループホームを開設しています。



就労等を支援する、きたみ学園地域サービスセンター、及び、川東学園地域援助センターを運営しています。



成人祝いの会、誕生会
新しい体育館で楽しいゲーム。
デイルームでの美味しい夕食会



“友楽里”のメイン作業はパンづくり、
新しい機械も導入して、まずは試作品作り。

お部屋やティルームで
くつろぎのひととき



“友楽里”“風楽里”的
ゆつたりした食堂で心も
マンゾク。

喜びの日に

きたみ学園父母会

椿 原 稔

長く伸びたツララ、海を一面に埋めつくした白い流水と例年になく、寒さの厳しい平成十五年かと思われます。

この年、永年の夢でありました新しい学園に入園出来たこと、園生はもとより私達父母にとりましても、この上もない喜びです。思えば私の子供が入園した二十数年前から、当時の田中園長さんはじめ、職員の方々から新築の意向を聞いておりました。その日のためにと、職員、父母会一丸となつての運動、積立金など、その苦労が偲ばれます。そして、行政をも動かし、ここに福祉の総合施設としての川東の里が現実として姿を現わしました。重ねて各関係者に感謝したいと思います。

今度、我が家の中の息子は、きたみ学園成人部に入園しました。冬期の休みも終わり、新

学園に向かつたところ息子は車から下りようとせず、自分の来る所ではないとの姿勢で、動こうとはしませんでした。仕方なく旧学園に車を走らせ、もう誰もいなくなつた学園に戻つてみました。ボストンバッグを持ち、カギのかかつた玄関の前に立ち、長い時間、中の様子をじつと見ておりました。新学園に移ることに納得がいかない様でした。再び学園に戻つたところ、丁度顔見知りの職員の方が声をかけてくれたのと友達が帰園して来るのを見かけ、やつと車を下り、晴れて自分の居室に落ち着きました。一人一室といふ環境にも少しだけ馴れて来ると願っています。

素晴らしい環境の中、自らしさを失うことなく、園の皆さんと仲良く生活してほしいと願っています。

職員の皆様には今まで以上の負担がかかるものと思いますが、更なる支援の程をお願い致します。

夢の実現を ありがとう

川東学園父母会

佐 藤 和 子

川東の見晴らしが良く広大な土地に皆の待望の施設がついに完成しました。引っ越しは大仕事でしたが、好天にも恵まれ皆嬉しさを隠し切れず充実した一日でした。落ち着いた外観と一歩中に入るとソフトライトな色合いの家具の置かれたロビーや食堂、そして何より個室のある有難さ。「夢の様ですね」思わず呟いてしまいました。顧みますれば通所に席を置いて間もなく改築に向つて父母達の間から要求ばかりでなく、自分達で廃品回収をして資金作りをという事になり、大きな活動に広がりました。廃品を各自の車に乗せて業者に持ち込んでいましたが限界となり、学園の車と職員の協力もあつて改築に向けて気運が一段と盛り上がりました。

度話合いを重ねた事でしょう。そして自己資金を作つて市や道に働きかけよう。皆の思いはついに一つに纏まりました。全体が一つになつた時の強さ。そして今利用者達が仕事を終えて、ゆつたりと満足そうに寛いでいる姿を目にした時本当に頑張つて良かったと心から思います。その間、思い半ばにして亡くなられた方々共、この喜びをと思った時、とても胸がつまります。その方達の思いを無駄にしない為にも新施設を十分に生かし続けなければと思います。純真な心と瞳を持つた子供達の笑顔に励まされ、老体(?)に鞭打つて次の目標を見つけつつ、夢ではないこの喜びを噛み締めたいと思います。



さだみ学園に仲間入り

高合 崎田正樹さん
(友楽里に仲間入り)

川東学園を退所しました

デイサービス風楽里には、約二十名の仲間が登録され、利用される予定です。

庵江安穴松中本広
頭斎田岡川間岡
亜久は想公
ゆ紀賢高き土彬慎
さんさんさんさんさんさん

友楽里に仲間入り

久松 松
保浦 浦
裕 春
規渚 夫
さん さん さん

川東学園に仲間入り

中外 柴岡山岡
佐々木岡 彩顕人貴
華太生之
さん さん さん さん

新職員紹介

鳥網小野寺羽野
菅生田道順恭美亜沙美朗
堂菊(年金取扱担当)巖子さんさんさんさんさんさん

退職しました

・・・・・
増野村今鎌須浜沢沢川丸江曾越小大堤若吉
野
山村岡井田藤崎井井村錢岸部後林東 沢村
千信貴貴有大里幹文明佑和智祥美 絵勇久
司由
之昌夫裕理介美夫子美子恵幸子紀司里樹美
（年金取扱担当）
支援員 看護師
運転手 支援員 事務員 支援員 支援員 管理人 世話人 支援員 支援員 支援員 支援員
運転手 支援員 事務員 支援員 支援員 管理人 世話人 支援員 支援員 支援員 支援員
運転手 支援員 事務員 支援員 支援員 管理人 世話人 支援員 支援員 支援員 支援員

十五年間、古い建物で我慢してきました。改築されましたが、ようやく改築されました。これも日頃皆様にご協力いただきましたおかげと、所員、職員共々心より感謝申し上げます。

川東學園指導員
工藤嗣己

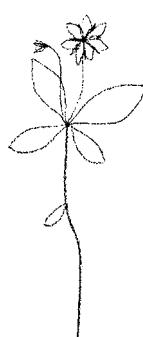
最初は川東学園証紹農場の一角で始まつたハム製造でした。冬は本当に寒く、当時、肉をまぜるのに機械がなく、所員が腕まくりし、手を赤くして震えながら混ぜていたそうです。

特に長年に渡り、市内、道内、道外のハム会員の方々には、日頃無理なお願いをしたり、激励のお手紙を頂いたり時には他の会員さんを紹介して頂いたりと、共同作業所で働く所員の為、力をおかし頂いた事をこの場をかりてお礼申し上げます。

やく現在迄使用していた工場に移転しました。元は豚舎として使用していた場所を改装して念願の工場を手に入れました。この時市内の食肉機械を取り扱う会社より沢山の専門機械を寄贈して頂きました。周りの皆さまの協力なしには出来ない事を痛感し、あたたかい志を頂いた事がありましたが、

そんな皆様の力添えのおかげで、所員のみなさんが生活する糧を生み出す事が出来、今日迄沢山の利用者の方々が地域で生活を送る事が出来ました。

四月より新しい、立派な工場で活動する訳ですが、より安全な製品を目指し、良い製品を提供するのが皆様への恩返しと考えています。



皆様からの
たくさんのお厚情
ありがとうございました。

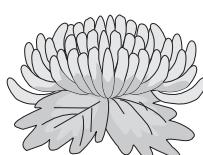
川窪 祥子 様	北見幼稚園
北海道ドライケミカル株北見營業所	様
北見札幌ビール会長	松原 良彦
北見学園父母会長	我妻彦治郎
川東学園父母会長	松井百合子
北光ハイヤー北見支店	様
支店長 土田 隆雄	様
北海道交通北見労働組合	執行委員長 平子 雅教
執行委員長 平子 雅教	渡辺 礼子
左京 俊夫 様	左高ツヤ子 様
宮崎 実 様	永山 博之 様
伊勢 ふさ 様	花 月 様
大和燃料 様	小西 畜肉 様
古家商店 様	日本農産物(株) 様
北見友の会 代表	増野 友子 様
片亀商店 社長 片山 吉定	石塚 昇 様
北見食品機械 代表	様
松緑神道大和山北見支部婦人部	様
山本工務店 株式会社	様
北見	様
見藤 女子高校	様

北見キリスト教連合会
会長白幡忠志様
「新築に際しお祝いを頂きました」
招待頂きました

北見個人タクシー協同組合 理事長 尾形 勇
JAながみね海南みかん部会 部会長 妻木 久光
国際ソロプロチミスト北見みんと 会長 吉田多恵子 様
北海道コカ・コーラボトリング(株)北見営業部 所長 松本 春男 様
日赤北見市地区北見赤十字奉仕団 委員長 稲積真佐子 様
委員長 様

北見個人タクシー協同組合
理事長 尾形

計報



川東学園・きたみ学園
利用者・父母・職員一同

めぐみ会理事
玉 越 真 様
三月十三日
在りし日のお姿を偲び心よりご冥福をお祈り致します。

めぐみ会理事

柴田キク工様
一月五日

いました

一月十三日、六十数名の父母の皆様のお手伝いを頂き、トラック四台で体育館に準備された荷物がまたたく間に新施設に運ばれました。お疲れ様でした。本当に有難うございました。

療育班の皆さんは毎日新しい地域のゴルフ場への道を賑やかに散歩していますが、地域の皆様これから長いお付き合いよろしくお願ひ致します。

三月に入つての吹雪、外に出られない日はゆつたり新施設の大きな窓から雪景色を楽しんでいます。農場では、しいたけの植菌、炭焼き、動物の飼育作業が続けられ、皆で春を待つて頑張っています。

三十五年間、学園を見守つてくれた“ぐりぐり山”ともお別れ、機関紙名は“川東の里だより”と改名致しました。今後共ご支援、ご協力よろしくお願い致します。